

戸沢議員

(1) 「お年寄り子どもは宝」の施策について

健康長寿について

二年前、あきる野市は東京保健所長会のデータによると、都内で一番の健康長寿の市だと報道された。この報道を財産とし、大いに「健康長寿あきる野市」を展開させたいと考え、以下に問う。

- ア めざせ健康あきる野 2.1、地域イキイキ元気づくり事業などについて実績と教訓は。
- イ 臼井市政が始まった当初、市長の諮問機関として、高齢者の声を施策に反映させるため「寿会議」を発足させた。改めて今、健康長寿について、高齢者の意見を聞く恒常的機会をつくることを提案するが、市の考えは。
- ウ 高齢者を中心に朝のラジオ体操、日中はプールで水中ウォークなど市民の健康維持活動が進められている。市として大いに普及することが求められている。市の考えは。

あきる野市にとって「宝」である子どもの声を大切にす施策充実について問う。臼井市政の初期時代、中学生の代表を迎えて「子ども議会」を開催した時代がある。今は「中学生の主張」というイベントが教育委員会で行われているが、成長、学習の場にとどまっておき、「子ども議会」に代わるものとはなっていない。「子ども議会」を再開して、「中長期の市の総合・実施計画」に反映できるようにすることを求める。市の考えは。

(2) 米軍横田基地へのオスプレイ配備について

米軍横田基地は、周辺に民家をはじめ学校、病院など公共施設が多くあり、航空機事故が起こると沖縄県普天間基地よりも危険といわれている。その横田基地にC V - 22 オスプレイを配備すると米国防総省が発表した。あきる野市は横田基地周辺5市1町とともにオスプレイの横田基地への配備検討の撤回を求めてきた。市民の安全を守り、基地機能の強化に反対する立場から、積極的な努力を続けてほしい。市にどんな情報が来ているかを伺う。